2026年11月10日

各　位

会　　社　　名　株式会社ジャパンエンジンコーポレーション
代　表　者　名　代表取締役社長　　川島　健
（コード番号 6016 東証スタンダード市場）
問合せ先責任者　常務取締役　　柴田　健
（TEL 078-949-0800）

通期業績予想の上方修正 及び 剰余金の配当（中間）並びに 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の通期業績予想、及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の上方修正について

2027年3月期通期業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円.銭
前回発表予想（A）	32,700	5,880	6,890	5,010	597.59
今回修正予想（B）	34,000	6,360	7,580	5,510	657.24
増減額（B－A）	1,300	480	690	500	―
増減率（　％　）	4.0%	8.2%	10.0%	10.0%	―
（ご参考）前期実績値（2026年3月期）	29,707	5,458	6,433	4,758	567.58

2. 剰余金の配当（中間）並びに 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

（1）配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想（2026年8月6日公表）	前期実績
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	30円00銭	同左	20円00銭
配当金総額	251百万円	－	167百万円
効力発生日	2026年12月2日	－	2025年12月2日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想	―	70円00銭	100円00銭
今回修正予想	―	81円00銭	111円00銭
当期実績	30円00銭	―	―
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	20円00銭	68円00銭	88円00銭

3. 通期業績予想の上方修正 及び 剰余金の配当（中間）並びに 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせの理由

(1)通期業績予想の上方修正

当社業績は、新造船市場が堅調に推移する中で、UEエンジンのグローバル展開も着実に進展しており、舶用内燃機関および修理・部品等の両事業が、順調に推移しております。そして、期末に向けても、良好な事業環境の継続が見込まれることから、通期業績予想を上方修正いたしました。

舶用内燃機関では、水素燃料エンジン初号機を計画通り完成させており、年度内の納入にむけて順調に進捗しております。当該機関の完成後、順次、操業負荷調整の解消を進めており、下期は生産量の回復を見込んでおります。

修理・部品等では、アフターサービス事業において、船舶の高稼働運航を背景に、メンテナンス部品の販売が堅調に推移しております。また、ライセンス事業では、中国ライセンシーにおける受注・製造・販売の好循環サイクルが拡大しており、ライセンシーでの生産能力拡大、これに伴う生産台数の増加が、想定以上に進捗することで、ライセンシー向けの部品供給ビジネス及びライセンシーから受け取るロイヤリティー収入が、ともに増加しました。

これらの結果、売上高、利益ともに期初想定を上回る見通しとなりました。

（2）剰余金の配当（中間）並びに 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、株主の皆様への安定的な配当を継続して実施することを重視するとともに、景気の変動に左右されやすい業界内にあって、経営基盤の強化を図るために、内部留保の充実を図ることは、長期的に株主の皆様の利益に適うものと考えており、収益状況等を総合的に勘案し剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、2027年3月期の中間配当金は、直近の予想通り、1株当たり30円といたしました。期末配当金は、通期業績予想の上方修正を踏まえ、2027年3月期の期末配当金予想について、前回予想から1株当たり11円の増配となる81円を決定いたしました。これにより年間配当金は、前期実績の1株当たり88円から、23円の増配となる、111円になる見通しです。

当社は、今後とも、業績の成長に沿って、株主様への還元に積極的に取り組んでまいります。

4. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上